

# 県民のみなさんへ

熊本県知事 細川護熙



今年、昭和が還暦を迎えた節目の年でありましたが、残すところあとひと月あまりとなつてしましました。顧みますと、今年、大きなイベントが熊本で数多く開催されましたが、なかでも、五月の第三十六回全国植樹祭には、天皇陛下のご臨席を仰ぎ、「緑の文化」を全世界へ向けて発信しました。天皇陛下には、この度のご来熊は十九年ぶりのことと

ございましたが、行幸の先々での県民あがりの歓迎に、大変よろこびを頂きました。また、九月末から十一月にかけての全国初の「文化団体」は、文化庁芸術祭の格調高い芸術と熊本に生れ育った伝統の芸術祭とからなるまさに新しい芸術祭の形を創り上げました。更に、十月二十四日から二十六日まで、「二十一世紀を深呼吸しましょう」ということで、当代を代表する文化人多数に参加頂いての文化デザイン会議が、「新・コスモス感覚」をメインテーマに開催されましたが、本当に「知」がさわぐ有意義な会議でありました。どれもこれも、昭和六十年という記念すべき節目の年にふさわしいイベントであり、大きな知的所産となりましたが、これもひとえに、県民の皆様あがりのご理解とご協力によるものであり、深く感謝いたしております。さて、これから年末にかけては、気候も寒さを増し、ご多忙の日も続くことと思いますが、皆様方にはご健勝にすごされますようお願い申し上げます。

## 県政トピックス

**清潔なイメージを基準に。ミス・グリーンフェア**  
選出

九月二十三日、熊本市の産業文化会館でミス・グリーンフェアの選出大会が行われた。ミス・グリーンフェアは、米年八月から熊本市江津湖畔で開かれる緑と水の博覧会「クマモトグリーンピク86」でコンパニオンを務めることになる。

大会には、多数の応募者の中から、一次審査を通過した二十九名が参加し、「グリーンフェアのイメージに合った清潔な感じの人」を基準に、熊本市の白木佳子さんをはじめ、五名のミス・グリーンフェアが選ばれた。



**時代の変化に対応する大学をめざして**  
県立女子大問題懇話会  
最終報告提出

十月七日、熊本女子大学間題懇話会」の竹内重年（熊本大学教授）座長から、知事に最終答申が提出された。

答申では、時代の変化に対応する大学にするため、国際関係学部、情報連学部などの学部の新設や男女共学化などを提言している。今後、県では、大学整備検討委員会を発足させ、基本構想をまとめる方針。

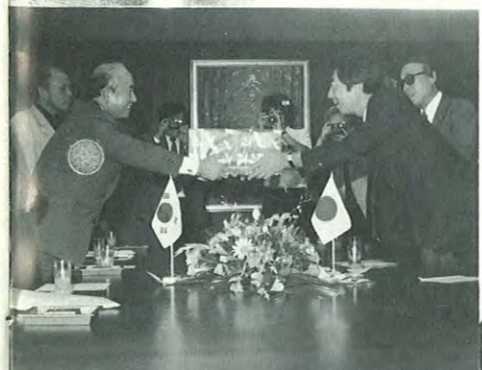


**広がる友好の輪。韓国忠清南道知事訪問**

九月二十四日から三日間、県と姉妹提携を結んでいる、韓国忠清南道の安應模知事一行十二名が、本県を公式訪問した。

忠清南道と本県が姉妹提携してから三年足らずの内に、学術、文化、技術、教育など多様な交流が続いている。

来熊中安知事が県議会本会議場で友好演説を行ったほか、熊本市の鶴屋百貨店で開かれた韓国物産展開会式に出席するなど、訪問団は精力的に日程をこなした。また、十月二十六日から四日間、アメリカ・モンタナ州知事も本県を公式訪問し、友好の絆を深めた。



**「温知館」の愛称で登場！**  
新県立図書館オープン



十月十六日、熊本市水前寺江津湖公園内に、新県立図書館が完成し、落成式が行われた。

新しい県立図書館は、旧館の約四倍という、百万冊の収蔵能力を持ち、西日本一の規模を誇るほか、県立図書館としては全国で初めて、貸出し・検索にコンピュータシステムを導入し、利用者の便宜を図る。

また、視聴覚ライブラリーや熊本近代文学館も併設され、指導者研修を行ったり、熊本の風土と文化を紹介したりするこれまでにない幅広い機能を持つ。



**国内外から各界の代表四百名が出席。テクノビジネス国際シンポジウム**



十月三日、四日の両日、熊本市のニユースカイホテルで「テクノビジネス国際シンポジウム1985」が開かれた。

これは、国際的に活躍している経営者、評論家、学者などを招き、国際化が進展する中での経営戦略や技術開発について討論し、交流を深めるために開かれたものである。アメリカ、オランダ、中国、東南アジア諸国など海外からと国内各地から、あわせて約四百名が参加した。

**「世界の本展」ご出席のため。三笠宮ご夫妻ご来熊**

十月二十四日、三笠宮御夫妻が「世界の本展」に出席されるため、熊本においでになった。同展は、三笠宮ご夫妻が名誉会長を務められている、出版文化国際交流会が、各国の教科書、児童書などを六千冊を展示するもの。

三笠宮ご夫妻は、県立劇場で開かれた開会式に出席された後、県立図書館で講演、開催中の文化デザイン会議会場のご視察と、ハードスケジュールをこなされた。

